

## キナナンの初仕事! 第2回寄居エキナセア祭

健康活性農場(渡辺秀之代表)主催の「第2回寄居エキナセア祭」が7月12日と13日に秋山の中間平エキナセアほ場で開催されました。当日は渡辺代表によるエキナセア基礎講座や、エキナセア関連商品の販売などが行われました。日中は30度を越える真夏日となりましたが、エキナセア茶でのどを潤す大勢の観光客でにぎわっていました。

また、本誌6月号で募集した「エキナセア・キャラクター」の名称が決定し、祭の中で発表されました。名前は「キナナン」です。これからのキナナンの活躍をお楽しみに!



命名  
キナナン

## 社会を明るくする運動 PR活動が行われました!

7月は、「社会を明るくする運動」の強調月間でした。深谷地区保護司会寄居支部では、7月2日に運動の一環としてPRパレードを行いました。

当日は深谷市役所花園総合支所で出発式を行い、寄居警察署のパトロールカーを先導に深谷市の花園・川本地内および寄居町内をパレードし、犯罪や非行防止のPR活動を行いました。

また、巡回PRとして午前中に町内の学校訪問、午後は寄居地区更生保護女性会とともに町内のスーパー4箇所での街頭広報活動などを行いました。



## 石澤巖さんが表彰されました! 平成20年度地域環境保全功労者表彰



6月11日に東京都港区で「平成20年度環境大臣表彰式」が開催され、石澤巖さん(谷津・寄居猟友会顧問・埼玉県猟友会相談役)が、地域環境保全功労者として表彰されました。

石澤さんは、寄居猟友会長や埼玉県猟友会長、埼玉県環境審議会委員などを歴任され、狩猟による事故の防止はもとより、生活環境・農業被害を防止するための有害鳥獣捕獲やキジなどの放鳥事業に努めるなど、鳥獣の保護管理に多大な貢献をされ、その功績が評価されての受賞となりました。

## 寄居ミニバススポーツ少年団 北部予選を突破し、県大会出場!

7月5日に埼玉県スポーツ少年団第27回ミニバスケットボール交流大会が越谷市立総合体育館で行われ、北部地区予選を突破した寄居ミニバスケットボールスポーツ少年団が出場しました。

県大会では、予選ブロックで大砂土ミニバス(さいたま市)と松之木バヤリース(八潮市)と対戦。1勝1敗で、残念ながら決勝トーナメントには進めませんでした。

ゲームキャプテンの松本洸希さんは「県大会に出られてよかったです。秋の大会でも予選を突破して、決勝トーナメントも勝ち抜き、優勝目指してがんばります」と話してくれました。



## 用土JVCスポーツ少年団 予選リーグを突破し、県決勝大会出場!



7月5日に第28回全日本バレーボール小学生大会埼玉県決勝大会が熊谷スポーツ文化公園体育館で行われ、予選リーグを突破した用土JVCスポーツ少年団が出場しました。

県決勝大会では、宮原ジュニア(さいたま市)と対戦。惜しくも勝利を逃してしまいましたが、キャプテンの清水恭花さんは、「決勝大会は、出場してみると迫力満点でした。思いっきり戦えたのは良かったけれど、もっともっと努力しなければ先に進めないと思いました。監督、コーチ、応援してくれた皆さん、ありがとう!!」と感想と感謝の気持ちを話してくれました。

## よりの夏まつり 市街地が熱気で包まれました!

7月12日と13日に市街地通りで「よりの夏まつり」が開催されました。6基の男性みこしと3基の女性みこし、さらには、子どもみこしも加わり、熱気で包まれた市街地は祭り気分一色に染まりました。

